

第4学年1組 道徳科学習指導案

令和4年10月5日（水）第5校時

在籍児童数

40名

指導者

教諭 瀧田 俊介

- 1 主題名 やりとげるひたむきな心 【内容項目A 希望と勇気、努力と強い意志】
- 2 ねらい りんごの無農薬栽培にこだわる木村さんの思いを考えることを通して、たとえ困難で苦しくても諦めずにやり抜く強い意志をもつことの大切さに気付き、粘り強く努力しようとする態度を養う。

教科名 「へこたれない きせきのりんご」＜出典：「新・みんなの道徳4」学研＞

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題は、小学校学習指導要領「特別の教科道徳」の内容項目【A 希望と勇気、努力と強い意志】の第3学年及び第4学年の指導の観点、「自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと」を受けて設定されている。これは、第1学年及び第2学年「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。」を受け、さらに第5学年及び第6学年の「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。」へと発展していく。さらに、中学校では、内容項目【A 希望と勇気、克己と強い意志】の指導の観点「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること」へとつながっていく。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲や目標をもち、その達成に向けて前向きに粘り強く努力する姿勢、やり抜く忍耐力が重要であると考え。こうしたことは、ただ漠然と努力するのではなく、自分に適した目標を設定し、見通しをもって取り組んでこそ、よりよい自己の生き方につながり、充実した生活を送れるのである。また、誰もが自分で思い描いたあるべき姿、よりよい状態の実現を願う気持ちがあり、不安や恐れを抱いて躊躇する気持ちに屈せずに、自分が正しいと思うことをやり遂げようとする積極的な気力をもっている。しかし、強い意志をもって継続することは難しいものであり、つらいことや苦しいことがあると、途中であきらめてしまうことがある。

そこで、目標の実現を目指して、困難にめげることなくしっかりと努力を続けられるようにするためには、明確な夢や希望を掲げ、失敗や困難を乗り越え、努力できるようにすることが重要である。

指導にあたっては、目標を実現するには、見通しをもち、諦めずに粘り強くやり抜く強い意志をもって努力することが必要であり、また、そこには、家族や周りの人々の支えや励ましがあることに気付かせたい。そこで、自分で決めた目標でも諦めてしまった経験を想起させ自己を見つめる。そして、教材の主人公である木村さんのたとえ困難な目標でもやり続けることができた秘訣を探り、粘り強くやり抜こうとする態度を養いたい。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

本時の道徳的価値である「努力」という価値について、「諦めないでやり続ける」と考える児童がほとんどである。本学級の児童は、自分の好きなことに対しては、自ら目標を立て、前向きに取り組もうとしている姿が見られる。しかし、つらいことや目標を達成するのが難しいと判断すると、途中であきらめてしまい、努力するのをやめてしまうこともある。そこで、自分がやらなければならないことだけではなく自主性を発揮し、多少困難なことでも自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもって粘り強くやり、努力しようとする態度を身に付けさせ、達成したときの充実感ややりがいを感じ、粘り強く努力することの良さを考えさせたい。

ねらいに迫るための＜希望と勇気、努力と強い意志＞のアンケートを行った。結果は以下のとおりである。

- 1 あなたは、目標を立て、それに向かって努力をしますか。
はい・・・31名 いいえ・・・8名
- 2 なぜ努力するのですか。（複数回答）
 - ・夢を叶えたいから（27人）
 - ・出来ないことが出来るようにできるようになりたいから（22人）
 - ・自分を成長させたいから（11人）
- 3 途中で努力するのをやめよう、諦めたいなと思った時はどんな時ですか。（複数回答）
 - ・落ちこんだ時（30人）・時間がかかる時（11人）・疲れた時（25人）
 - ・苦しい時（28人）・忙しい時・相手が分かってくれない時（14人）
 - ・失敗した時（26人）・何度やっても達成できない時（34人）
- 4 目標を達成したらどのような気持ちになりますか。（複数回答）
 - ・うれしい（27人）・達成感を感じる（20人）・頑張ってよかった（11人）
 - ・開放感を感じられる（9人）・スッパリする（32人）・また別の挑戦をしたくなる（8人）

アンケート結果から、本学級の児童は普段から目標を立てて努力している児童が多い。また、努力する目的や達成したときの気持ちは、よりよい自分になりたいからという思いをもっている児童が比較的多く見られた。その反面、努力するのをやめたい、諦めたいと思う理由については、自分自身の気持ちや目標を達成することが実現可能かで判断していると考えられる。

本教材では、自分自身の努力することを諦めた経験をもとに、木村さんの諦めず努力する姿勢について考えていく。

（3）教材の特質や活用方法について

本教材は、りんご農家の木村さんが自然栽培でりんごを育てることを目指し、たくさんの困難を乗り越えて成功させるまでが描かれている。

7年間にりんごが採れなくても、農薬に弱い妻や無農薬りんごを子どもに食べさせたいという思いから「農薬を使わないりんごを育てる」という初心を貫き強い意志をもち続ける姿から、粘り強くやり抜く強い意志について学ぶことができる。本教材は、木村さんの折れない「心」や無農薬りんご栽培し続けた「行動」を考えていく。そして、木村さんの「心」や「行動」を通して「希望と勇気、努力と強い意志」についての価値を深めていきたい。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合う。

- ① 木村さんの無農薬のりんごを作ろうという思いに関しての場面
無農薬栽培にこだわる木村さんを批判的に捉え、自我関与させて考えさせる。
- ② 木村さんがりんごが全くとれない状況でも諦めず、無農薬栽培を続けようとする場面
普通なら諦めてしまう状況の中で、どうして続けられたのかを考えさせる。
- ③ 木村さんが7年かけて自然の力だけでつくった「奇跡のりんご」を作れた場面
諦めずに無農薬りんご栽培を続けて、目標を達成することができた要因を考えさせる。

4 研究主題とのかかわり

令和4年度調査研究 GIGA スクール構想における1人1台/BYOD環境を活かしたICTの活用
～道徳科の授業を自分事として捉えさせるための効果的なICTの活用～

<研究仮説に迫るための手だて>

仮説①

課題意識をもたせることができれば、児童が主体的に取り組むであろう。

【手だて①導入 ICT 活用】

導入で、本教材の主人公である「木村秋則」さんの「奇跡のりんご」について「Yahoo!kids Japan」で調べる。自ら調べることによって、児童の問題意識や疑問が生み出され、木村さんの「奇跡のりんご」について興味関心がわき、主体的に授業に臨むと考える。

仮説②

児童・生徒の意見を整理することができれば、対話的・協働的な学習となり、自己をみつめることができるであろう。

【手立て②思考ツールの活用】

木村さんの困難な状況の中で「無農薬りんご栽培」を作り続けた思いを多面的・多角的に引き出し、分類、比較、関連付けなどできるようにする。

【手だて③ICT を活用しての対話的・協働的な学習】

グループや全体で協議する際には、ICT を活用し、自分と他者の考えを比較することを通して、考えを深めるだけでなく、新たな気づきや学びを感じ、自分事としてより考えることができるようにする。

仮説③

終末の振り返りを個別最適化し、ICT を使用し、全体で共有することで学びが深まるであろう。

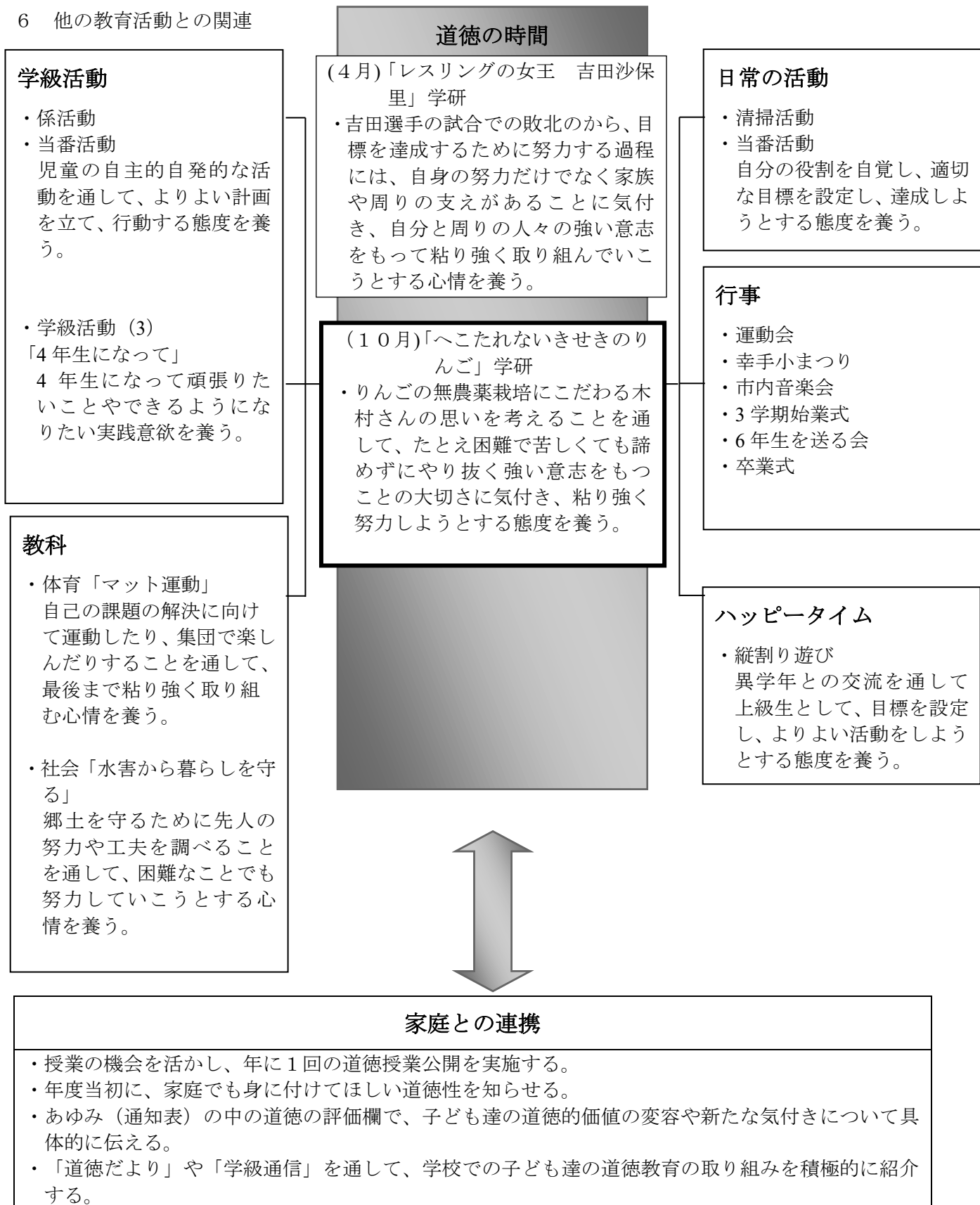
【手だて④振り返りの時間での ICT 活用】

振り返りの場面では ICT を活用して自分や他者の考えを整理して、振り返ることで本時の学びやこれまでの自分の経験やその時の感じ方、考え方を照らして合わせて振り返ることで自己を見つめることができる。また ICT を活用して振り返りを全体で共有することで自分の考えを再構築し、新たな学びや気づきが生まれるようにする。

5 学習指導案

段階	学習活動・主な発問	・予想される児童の発言	指導上の留意点(※) 評価 (◎) 幸手スタンダードにかかる手立て(☆) 研究課題に迫る手立て []	時間
とらえる	1 「奇跡のりんご」について調べる 2 「木村秋則」さんの説明をする。 3 自分で決めた目標をやり続けるためにはどうすればよいか考える。	・木村秋則 ・無農薬りんご栽培 ・自然栽培 ・青森県の人	☆心のスイッチをONにするためにしっかりとあいさつする。(I) ※「Yahoo!kids Japan」で「奇跡のりんご」について検索し、ウェブ検索画面や関連情報から調べたことを発表させ、興味関心をもたせる。 ※教師が木村さんの「奇跡のりんご」について説明し、無農薬栽培でりんごを作るのに、約7年間かかったことを知らせる。その上で、「途中で諦めようとしなかったのか。」という話し合う上での視点を与える。 ☆活動のめあてを見通させ、主体的に活動できるようにする。 (II) 【手だて① 導入のICTの活用】 「奇跡のりんご」に興味関心を抱かせ、主体的に学習を進められるようにする。	5

あ た た め る	(3) 木村さんが7年かけて自然の力だけでつくった「奇跡のりんご」を栽培できた行動にはどのようなひけつがあったのでしょうか。 <補助発問> 木村さんの生き方をどう思いますか。	・自分に負けない心 ・自分のことを信じる ・家族や周りの人々の支え ・やりぬこうとする心 ・どうすれば達成できるか考える力や行動力 ・農家としてのプライド ・自然を上手く利用する力 ・今までとは違ったやり方を試す行動力 ・自然の姿をうまく再現したこと	※諦めずに続けて目標を達成することができた要因を(2)で整理した意見を参考に考えさせる。 ※「目標を達成する」には「努力する」だけでなく、自分の信念を貫くことや小さな積み重ね、他者の協力や実行する行動や心が伴っていないといけないことに気づかせる。	7
	6 今までの自分を振り返り、よりよい生き方を考える	・目標を実現するには、自分でしっかりと考えた目標を立て、粘り強く努力していくことが大事だと思った。自分もすぐ目標が達成できないと思うと諦めていたけど、すぐに諦めずに、自分でもう一度目標を見つめ直し、取り組んでいきたい ・自分一人の思いだけで努力し続けることは難しいけど、周りの人々の支えなどによって頑張れると思った。自分も一人でがんばっていると思っていたけど、がんばれているのは家族など支えてくれている人々がいるからだと思った。	※書く活動を取り入れ、自分自身をじっくり見つめさせることで、ねらいとする道徳的価値についての自覚を深めさせる。 ◎これまでの自分を振り返りながら、自分の立てた目標に向かって粘り強く取り組んでいくことについて考えている。 ☆自分の学びを振り返り、次の学習に活かす。(V) 【手だて④振り返りの時間のICT活用】 振り返りで ICT を活用することで、全体で考えを共有するだけでなく他者の考えにも触れ、新たな気付きや学びが生まれるようにする。	8
	7 教師の説話を聞く。		・木村さんの「やらなきゃ、失敗なのか分からない。」というインタビュー記事を紹介する。	2



7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考える様子】

- ・苦しくても、諦めず無農薬栽培にこだわりをもって続けた木村さんの思いについて考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分の立てた目標に向かって粘り強く取り組んでいくことについて自分との関りで考えている。

8 板書計画

へこたれないきせきのりんご

